

稼プロ!

稼げる! プロコン育成塾

稼げる! プロコン育成塾 20期 第11回講義、次のとおり報告します。

■実施要項

開催日時： 2021年5月29日（土）10時～17時20分

講義内容： 【話す】模擬プレゼンテーション

講師：富岡 淳（9期）

■講義レポート

1. 塾長講話

講師：鴨志田塾長

5月29日（土）に稼げる! プロコン育成塾 20期 第11回講義を開催しました。今回は稼プロ! で学ぶ「話す」の集大成となる模擬プレゼンテーション。例年は大勢を相手に対面で行いますが、今期は非常事態宣言中ですので初めてオンラインで実施しました。

講義は鴨志田栄子塾長の講話から始まります。今回のテーマは「マネジメントについて考える」。ドラッカーはマネジメントの意味を「成果に対する責任に由来する機能」と説明しています。

「責任に由来する機能」なので、マネジメントの対象や、マネジメントを行うポジションによって意味が異なります。その意味をドラッカーは客観的な原理原則論にまとめているのです。

集合時はプレゼンテーションの緊張感が各塾生の表情に滲み出ていましたが、本番とは違うテーマによって雰囲気は暫し和らいだようです。



写真：鴨志田塾長

2. プレゼンテーションに関するアイスブレイク

講師：富岡 淳（9期）

続いては富岡淳講師のプレゼンテーションに関するアイスブレイクです。本番直前のアドバイスを3点頂きました。

1点目は「オンラインのプレゼンテーションが今後は通常になると意識しよう」です。コロナ収束後はハイブリット型のワークスタイルが定着すると予測されており、オンラインのプレゼンテーションの機会は増え続けるでしょう。オンラインでは話すスピードや滑舌に気をつけないとメッセージが伝わりません。今回の発表を通じ、伝わりやすいオンラインのプレゼンテーションスキルを身に付けようというアドバイスです。

2点目は「聞き手に何をプレゼントするかを明確にしよう」です。プレゼンテーションの語源はプレゼント。アリストテレスの3要素であるエトス（人柄）・ロゴス（論理）・パトス（感情）を駆使して、届けるプレゼントを明確にしようというアドバイスです。

3点目は「トレーニングのつもりで取り組もう」です。過度な緊張は必要なし。リラックスして取り組もうというアドバイスです。



写真：富岡講師

3. 【話す】模擬プレゼンテーション

講師：富岡 淳（9期）

いよいよ 20 期生による模擬プレゼンテーションです。塾生はあらかじめビジネスに関連するテーマを自由に選び、話の骨子をレジюмеにまとめ、練習を繰り返してこの日の本番に挑みます。プロフェッショナルな中小企業診断士のプレゼンテーションを想定しているので、プレゼンターはスーツを着用し持ち時間（15分）を過不足なく使い切らなければなりません。

プレゼンテーション後は、講師や OB 生である事務局、塾生同期が講評を行います。パワーポイントの使用は不可。パワーポイントを使うと、話の内容がレジюмеの骨子から逸れても、まとまっているように見えてしまうからです。今回は9名の塾生が参加しました。テーマは読んだ本や仕事、趣味に関わることなどバラエティに富んでいます。



写真：20 期生のプレゼンテーション

オンラインのプレゼンテーションスキルの観点では、多くの工夫が見られました。画面いっぱいには身振り手振りを取り入れると、対面よりも迫力を感じます。プレゼンテーション中にチャットで質問すると、オンラインでも双方向コミュニケーションが可能です。レジюмеはキーワードを効果的に配置しながらメモのスペースを残しておく、聴き手の理解が深まります。富岡講師からはテーマにあったヴァーチャル背景の設定や、画面に映る顔の位置や明るさを工夫することもスキルの一つになるとのアドバイスがありました。

何をプレゼントするか？については、全員が意識していました。その中でも特にプレゼントを際立たせたプレゼンテーションは、メッセージ力が強かったようです。聴き手が明日から使えるノウハウを抽象化してポータブルな形で伝えることが大切です。

「トレーニングのつもりで」はリラックスが目的ですが、流石に緊張感を払拭することは難しかったようです。聞き手の反応が見えないオンライン、気が引き締まるスーツ着用、正確な時間管理、集大成に対する講評、使い慣れているパワーポイント使用不可といった厳しい条件下で、否が応でも緊張感が高まります。しかしながら様々な挑戦を取り入れた人にとっては、トレーニングとしての意義も大きかったようです。

■次回の案内

次回は、いよいよ 20 期最終講義です。

【独立へのロールモデル】 稼プロ！OB生に聞く”成功への秘訣”

鴨志田栄子塾長

【キャリアビジョン】 1年の振り返り&プロコンに向けての決意表明

（事務局：佐々木 晋（18期））

以上